

教科	商業	学科	事務情報科	学年	2	年	必履修ではない
科目	ビジネス・マネジメント			単位数	3	単位	
使用教科書	ビジネス・マネジメント(東京法令出版)		副教材				

学校教育目標	高い志を立て、自己を練磨し、社会に貢献する人間の育成(立志・練磨)									
育成を目指す 資質・能力	基盤的学力	◎	協働力	○	論理的思考力	◎	傾聴力		課題解決能力	◎
	表現力	○	判断力	○	考察力	◎	情報活用能力	◎	コミュニケーション能力	◎
	基礎的読解力	○	創造力	○	洞察力		継続力		行動力	○
	自己管理能力	○	共感力		自己実現力		復元力(折れない心)		自己肯定感	
学習の到達目標	・商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるマネジメントに必要な資質・能力を育成する。									
	・									
	・									
	・									

★評価規準	A: 十分満足できる	B: 概ね満足できる(基準)	C: 努力を要する
★単元ごとの評価規準	★4月～6月下旬までの学習内容		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。	ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるマネジメントに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか	
・定期考査 ・小テスト ・課題学習やレポート	・定期考査 ・小テスト ・課題学習やレポート	・授業でのワークシート ・考査前後の振り返りシート	

【学習計画】

月	単元	学習の目標(評価の観点:評価方法)
4	1章 ビジネスとマネジメント 1 マネジメントの役割 2 イノベーションの重要性	・ビジネスにおけるマネジメントの概要について理解すること。 ・マネジメントの意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて見いだす。 ・ビジネスにおけるマネジメントについて自ら学び、企業を取り巻く環境を踏まえ、マネジメントに主体的かつ協働的に取り組む。
5	1章 ビジネスとマネジメント 3 創業者や経営者の理念 4 ビジネスにおける外部環境の影響	・ビジネスにおけるマネジメントの概要について理解する。 ・マネジメントの意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて見いだす。 ・ビジネスにおけるマネジメントについて自ら学び、企業を取り巻く環境を踏まえ、マネジメントに主体的かつ協働的に取り組む。
6	前期中間考査 2章 組織のマネジメント 1 組織の形態 2 経営理念と経営戦略	・組織のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解する。 ・組織のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、組織の管理と活性化の方策を考案して実施し、評価・改善する。

★単元ごとの評価規準	★7月上旬～9月下旬までの学習内容		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか	
・定期考査 ・小テスト ・課題学習やレポート	・定期考査 ・小テスト ・課題学習やレポート	・授業でのワークシート ・考査前後の振り返りシート	
7	2章 組織のマネジメント 3 企業間連携と事業構造の再構築 3章 経営資源のマネジメント 1 経営資源の種類と最適化 2 人的資源のマネジメント	・組織のマネジメントについて自ら学び、組織の一員として組織の適切な管理と活性化に主体的かつ協働的に取り組む。 ・経営資源のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解する。	

自己評価	実際評価		
観点	観点		
① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③

8	3章 経営資源のマネジメント 3 物的資源のマネジメント 4 財務的資源のマネジメント	・経営資源のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、経営資源の管理と活用の方策を考案して実施し、評価・改善する。 ・経営資源のマネジメントについて自ら学び、経営資源の適切な管理と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む。
9	前期期末考査 4章 1 企業統治	・企業が継続的に活動する上で、利害関係者(ステークホルダー)がマネジメントを監視するシステム及び情報開示(ディスクロージャー)を行うシステムを構築するなど企業統治(コーポレート・ガバナンス)の重要性について扱い、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する。

★単元ごとの評価規準		★10月上旬～3月下旬までの学習内容
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
★何で評価するか ・定期考査 ・小テスト ・課題学習やレポート	★何で評価するか ・定期考査 ・小テスト ・課題学習やレポート	★何で評価するか ・授業でのワークシート ・考査前後の振り返りシート

自己評価			実際評価		
観点			観点		
①	②	③	①	②	③

10	4章 2 リスク・マネジメント	・リスク・マネジメントの重要性について扱い、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する。
11	4章 3 企業の社会的責任 後期中間考査	・環境の保護と保全、持続可能な社会の実現などが企業に求められている現状について、具体的な事例を用いて扱う。また、法令遵守(コンプライアンス)、企業倫理、説明責任(アカウンタビリティ)の重要性について扱い、具体的な事例と関連付けて考察する。
12	5章 ビジネスの創造と展開 1 ビジネスの創造の意義と課題	・ ビジネスの創造と展開について企業における事例と関連付けて理解する。
1	5章 ビジネスの創造と展開 2 プロジェクト管理	・ビジネスの創造と展開に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの創造と展開に関する計画を立案して実施し、評価・改善する。
2	5章 ビジネスの創造と展開 2 プロジェクト管理 学年末考査	・ビジネスの創造と展開について自ら学び、プロジェクトを適切に管理し、ビジネスの創造と展開に主体的かつ協働的に取り組む。
3	5章 ビジネスの創造と展開 3 企業の意義と手続き	・ビジネスの創造と展開について自ら学び、プロジェクトを適切に管理し、ビジネスの創造と展開に主体的かつ協働的に取り組む。

★最終評価総括(自己評価／実際評価)					
①知識・技能		②思考・判断・表現		③主体的に学習に取り組む態度	

自己評価総括			実際評価総括		
①	②	③	①	②	③

◎前期振り返り	◎後期振り返り	▶備考